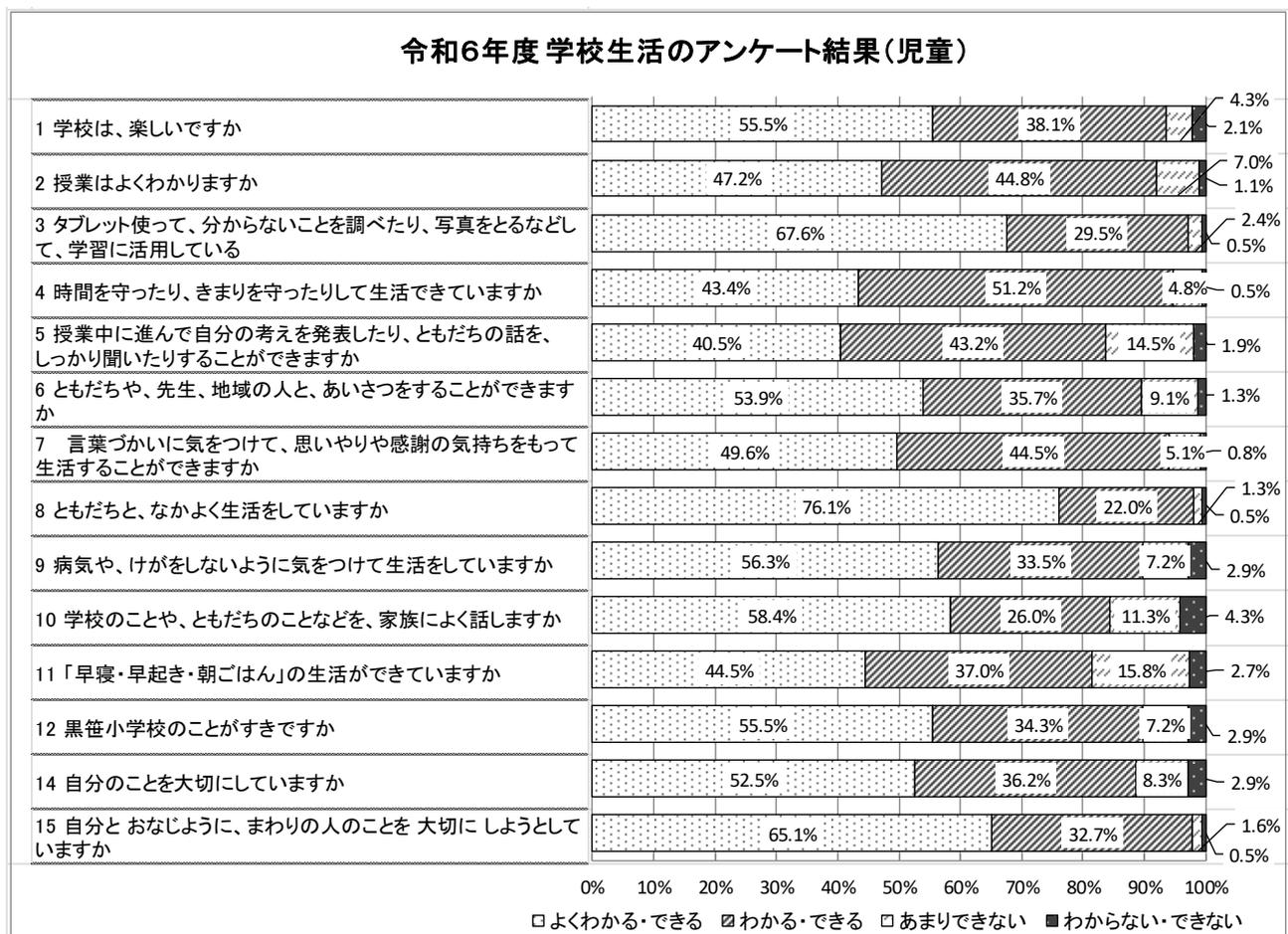


令和6年度学校評価アンケートの結果について

みよし市立黒笹小学校

学校評価アンケートは、本校の教育活動を振り返り、子どもたちの学習活動や生活習慣など家庭・地域との連携を一層深め、子どもたちがよりよい生活を送れるよう学校運営の改善と発展を目指すものです。次のとおり、今年度のアンケート結果をお知らせいたします。ご意見・ご感想については、いつでも学校にお寄せいただければ幸いです。

1 児童自己評価アンケートより



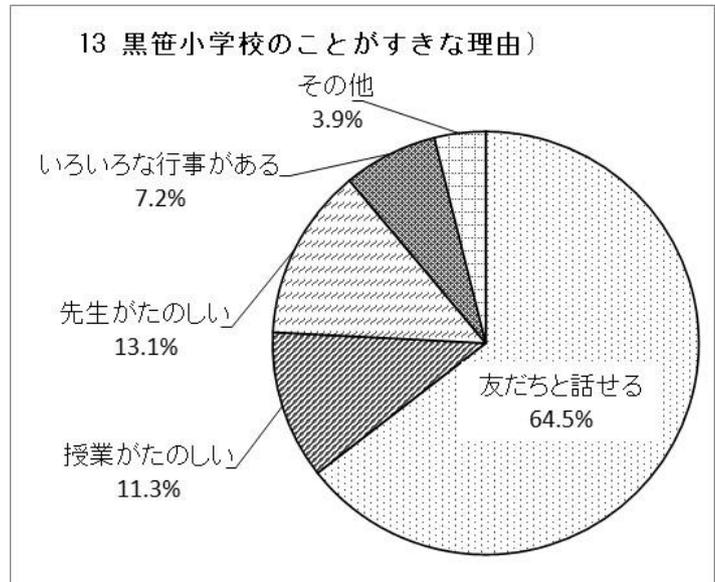
○「問1：学校は楽しい（93.6%）」「問7：言葉づかいに気をつけて、思いやりや感謝の気持ちをもって生活している（94.1%）」「問8：友達と仲良く生活している（98.1%）」「問15：自分と同じように周りの人のことを大切にしている（97.8%）」と答えている子どもが多い。

○学校が好きな理由は、「友達と話せる（64.5%）」と答えている子どもが多い。

子どもたちにとって、友達との関わりがとても大切なことだと分かります。

今年度から毎週火曜日の朝の帯時間に「ざさっこタイム」という対話スキルの向上を目指した活動を実施しています。毎回トークテーマを決め、「友達が話したくなるようなうなずき方をしよう」、「話に共感したり、賞賛したりする言葉をかけよう」、「友達がもっと続きを話したくなるように促したり、質問をしてみよう」といった「めあて」を掲げて実践して

います。こうした取組を重ねることで、子ども同士が認め合える関係が構築され、「自分と同じように周りの人のことを大切にしている」と実感できる子が増えているのだと考えます。「ざさっこタイム」で身に付けたスキルを授業や友達との関わりの中で発揮し、思いやりの心や自己有用感を高めていけるよう努めます。



○「問3：タブレット端末を使って、分からないことを調べたり、写真を撮ったりして、学習に活用している（97.1%）」と答えている子どもが多い。

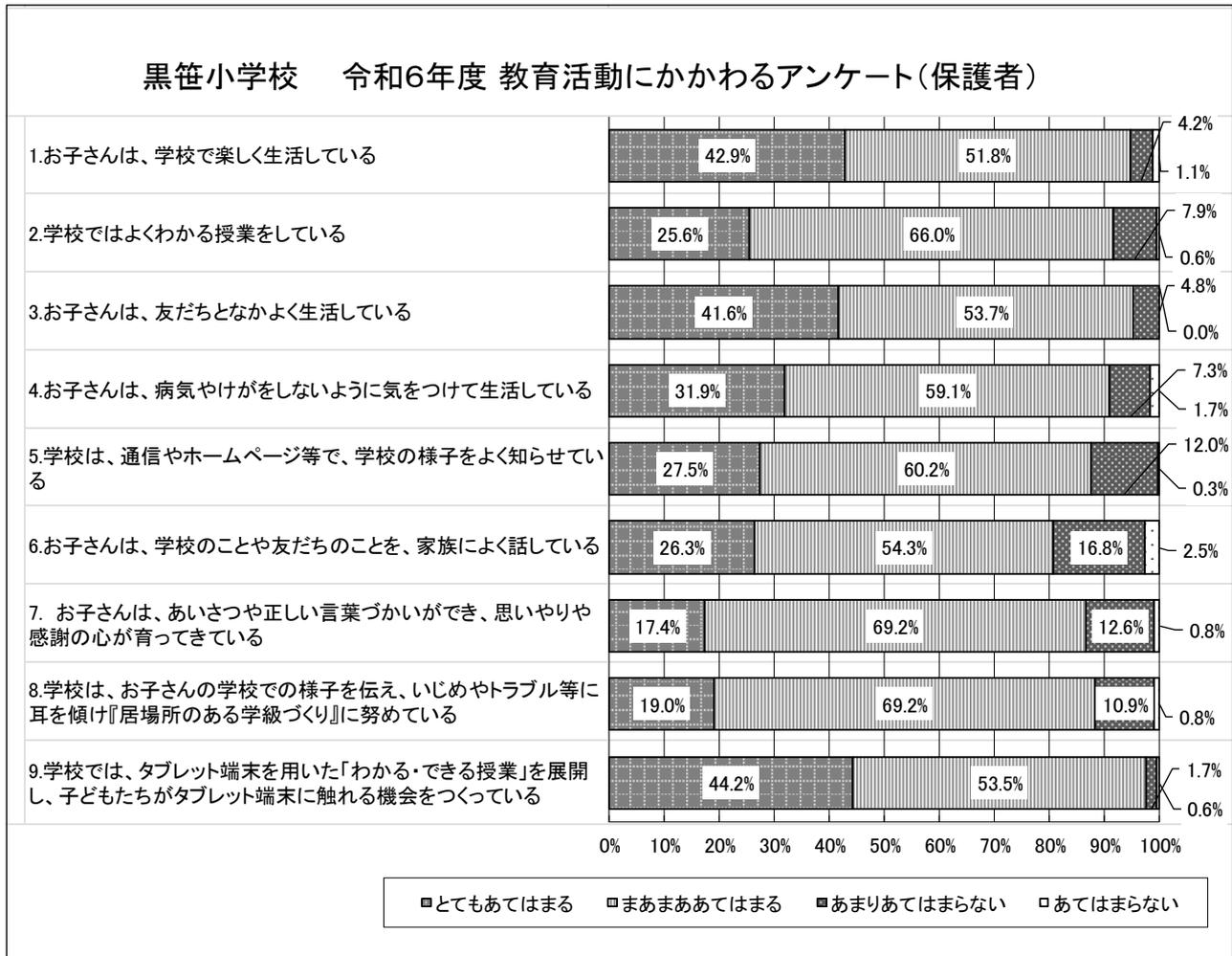
本校の授業研究のテーマである「児童の思考を促す主体的・対話的で深い学び」を実現するために、多くの授業でタブレット端末の活用が進んでいます。学習課題について調べる手段としてだけでなく、デジタルカードに書き込んだ意見を友達と共有するとともに、共同編集機能を使って意見交換することで、自分の考えを深めていく場面も増えています。ICT機器を効果的に授業に組み込んだ授業づくりを進めてきた結果、子どもたちも、学習の場でタブレット端末を活用できているという実感が高まり、このような結果につながったと考えます。今後も、学習活動に応じたタブレット端末の活用について研究を進め、個別最適な学びと、協働的な学びの実現に努めます。

**▽「問5：自分の考えを発表したり、友達の話をしっかり聞いたりすることができる」
「問10：学校のことや友達のことを家族によく話す」「問11：早寝・早起き・朝ごはんの生活ができてい」に対しての子どもたちの評価は、他の項目に比べてやや低い。**

自分の考えを伝えたり、友達の意見に耳を傾けたりすることができる子どもを目指して日々の授業に取り組んでいますが、まだまだ十分ではありません。今後も「友達の意見を聴きたい!」、「自分の考えを説明したい!」という意欲が高まるよう、授業での「しかけ」や教師の発問を工夫し、学び合いが生まれるよう研鑽してまいります。生活習慣の確立につきましては、ご家庭のご協力がなくては改善できません。「早寝・早起き・朝ごはん」を合言葉に、学校でも指導していきますが、ご家庭でも引き続きのご協力をお願いいたします。

裏面もご覧ください。

2 保護者アンケートより



○次の3つの項目に対しては、特に高い評価をいただいています。

問1 「お子さんは学校で楽しく生活している」(94.7%)

問3 「お子さんは友だちとなかよく生活している」(95.3%)

問9 「学校では、タブレット端末を用いた『わかる・できる授業』を展開し、子どもたちがタブレット端末に触れる機会をつくっている」(97.7%)

学校が楽しい場所であるためには、家庭での働きかけも不可欠です。今後も、保護者の皆様のご協力をいただきながら、学校が子どもたちにとって楽しく友達と過ごせる場所として、毎日通い続けたい学校づくりを目指して取り組んでまいります。タブレット端末については、授業で友達と意見を共有・比較したり、振り返りを蓄積したりするなど、効果的な活用場面を検証しながら進めています。今後もこうした活用が「わかる・できる授業」へとつながるように努めてまいります。

▽次の項目については、他の質問と比べ「あまりあてはまらない」や「あてはまらない」と答えている方がやや多い。

問5 「学校は、通信やホームページ等で、学校の様子をよく知らせている」(87.7%)

問6 「お子さんは、学校のことや友達のことを、家族によく話している」

(80.6%)

問7「お子さんはあいさつや正しい言葉遣いができ、思いやりや感謝の心が育ってきている」(86.6%)

問8「学校は、お子さんの学校での様子を伝え、いじめやトラブル等に耳を傾け『居場所のある学級づくり』に努めている」(88.2%)

児童アンケートの結果でも、「学校のことや友達のことなどを、家族によく話しますか」(84.4%)、「友達や先生、地域の人とあいさつをすることができますか」(89.6%)と、ほぼ同様の傾向でした。学校からは、子どもたちに対して、家族と話すよい話題について伝えるとともに、学年・学級通信等で子どもの様子を発信して、家庭で話題にさせていただけるよう努めます。子どもたちの居場所づくりにつきましても、教員が子どもの話を受け止め、SOSにいち早く気付けるよう寄り添っていきます。また、教員が安心して信頼できる大人であると感じてもらえるよう、日々の学校生活の中で強い信頼関係を築き、いじめは許されることではないことを毅然とした態度で指導してまいります。

《自由記述欄より》

<ul style="list-style-type: none">・子どもや保護者に対して、いつも丁寧に関わっていることで学校に楽しく行けている・図書室の充実や、PTA・みらい応援団主催のイベントなどがうれしい・やらされる勉強ではなく、自ら知りたい、やりたいとなれるとよい・自分の意見が言えるだけでなく、他人の意見を聞ける子に育ててほしい・月例テストはとてもよい取組だと思うので毎月続けてほしい・性教育をどの学年でも実施してほしい・金融リテラシーを向上させてほしい・一部児童により授業中または休み時間中の行き過ぎた行動があるので、他の児童に被害や影響が及ばないようにしてほしい・担任によって指導が異なるので、学校として統一感のある指導にしてほしい	<ul style="list-style-type: none">・タブレット端末の使い方だけでなく、鉛筆の持ち方や字を書く指導を増やしてほしい・タブレット端末の中を親が確認できるようにしてほしい・タブレット端末は重くて負担なので、低学年だけでも持ち帰りを見直してほしい・大事な連絡は紙又は連絡帳で知らせてほしい・体力向上、競い合い、活躍の場として、マラソン大会を復活させてほしい・感染力のある病気が流行ったときに、マスクの着用を啓発する連絡がほしい・ネームプレートの着用を徹底し、防犯、不審者対策を行ってほしい・絵の具のパレットや習字の筆を家で洗わせるのをやめてほしい
--	---

記述欄には、教職員への励ましや前向きなご意見・ご要望をいただきありがとうございました。

その一部を上に掲載しております。いただいたご意見・ご要望については、子どもたちのため、よりよい学校教育活動のために検討してまいります。また、検討した内容については、新年度の教育活動説明資料にてお伝えできればと考えております。今後もお気付きの点がありましたら、いつでもお伝えください。

これからも、学校、家庭、地域が連携して子どもたちを守り、育てていきたいと思っております。ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。